

ながくてごみ減量化通信

回 覧

～第11号～ 令和5年2月 長久手市役所環境課

令和4年12月にもえるごみの中身を調査してみました

直接廃棄



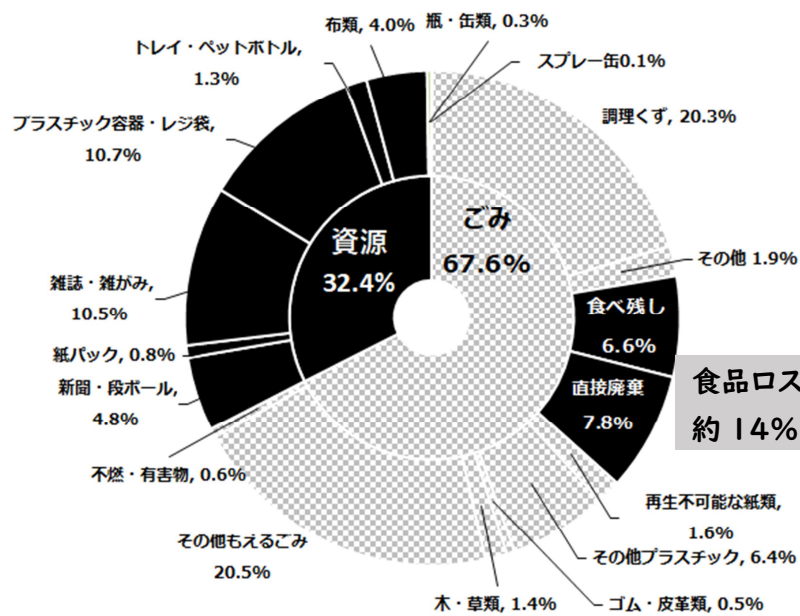
プラスチック製容器包装



雑がみ



もえるごみ袋全体のうち約14%が食べ残し・多くの未開封・未利用の食品（直接廃棄）が含まれていました。また、約32%が分別すると資源になるものが混ざっていました。ごみを減らすために、地球にも家計にも優しい取り組みを心がけましょう。



食品ロスを減らすためには！

① 食品は必要量だけ購入

事前に冷蔵庫内などを確認し、調理する分量に応じて少量パックやバラ売りを利用しひと工夫する。

② 食材を上手に使い切る

定期的に残りの食材を確認し、余った料理や野菜、果実の皮にひと工夫する。

③ できるだけ残さず食べきる

食べきれぬ量だけ購入・料理する。外食時も食べきれぬ分だけ注文し、残ってしまう場合は可能であれば持ち帰る。

※組成調査とは、各家庭から出されるもえるごみ袋をサンプルとして回収し、ごみの品目ごとに重さの割合を求めたものです。

すぐに食べるなら、
手前をえらぶ。

『てまえどり』にご協力ください

